

平成25年度つやま産業塾「市民公開講座」実施報告

- 1 日時 平成25年12月1日(日) 14:00～15:30
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 2階大ホール
- 3 演題 自分を磨く「嫌われ仕事」の法則
- 4 講師 日本外装システム(株) 代表取締役 唐鎌 謙二 氏
- 5 参加者 30名

6 講演内容

つやま産業塾では、毎年、市民の方々に産業振興について考えていただくことを目的に市民公開講座を開催しています。今年度は、神奈川県日本外装システム(株)代表取締役である唐鎌謙二氏を講師にお迎えして開催しました。

唐鎌氏は、雨漏りを修理するプロフェッショナル、人呼んで「伝説の雨漏りハンター」として、一級建築士やベテラン大工ですらあきらめる難しい雨漏りを、最後の砦となって解決し続けている雨漏りの専門家です。

雨漏り修理という仕事は、どの企業もやりたがらない「嫌われ仕事」ですが、世の中で成功している企業の大部分がこの「嫌われ仕事」をしているということです。

唐鎌氏の講演の中で、重要なテーマとして挙げられたのが次の3点です。

迷った時は嫌な方を選ぶ

ビールと紅ショウガの法則

感謝が生まれない仕事はやめよう

では、AとBの優劣つけがたい選択で、Aの方が心理的に嫌である場合は、心理的に嫌な点を差し引くとBよりAの方が内容的に優れているので、Aを選んだ方がよいという考えです。何よりも迷っている時間が一番もったいないということです。

では、ビールや紅ショウガは、最初は苦かったり、辛かったりしますが、年をとっていくと、おいしいと思えるようになります。嫌な仕事も同じで、我慢してやっていると、面白くなってくるかもしれないので、すぐにやめるのではなく、付き合ってみる期間が必要ということでした。

では、仕事とは、感謝をされることをするべきであり、その様な企業でないと続かないということでした。

唐鎌氏の講演内容は、全てご自分がやってきた「嫌われ仕事」から経験したものであり、目の前のどんな仕事でも、一生懸命することで自分のやるべき仕事が見つかるのだと強く感じる事が出来ました。

講演風景

